

京都廣学館高等学校

所在地：京都府相楽郡精華町下狛中垣内48

生徒数：627名

↳アドバンスコース [目標とする大学への進学を目指す]

↳ジェネラルコース [目標とする進路実現を目指す]

教頭/教務部長 里之内 希 先生



現状・課題感

- 総合型選抜や学校推薦型選抜で課される小論文や志望理由書、面接など思考力・判断力・表現力が試される機会が増加。
- 与えられた課題（テーマ）を正しく理解する力や、文章や図表など複数の情報を読み取る力の育成が必要。
- 事実と意見の峻別や、各段落の役割を意識した、論理的で相手に伝わる表現力の育成が必要。

導入形態

【アドバンスコース】

- 目標級・・・1年/3級、2年/準2級
- 指導概要・・・1年/現代の国語、2年/現代文B

【ジェネラルコース】

- 目標級・・・2年/4級
- 指導概要・・・国語表現（通年）

【両コース共通】

- 教材・・・文章検 公式テキスト各級

文章検導入のポイント

基礎力から総合力まで段階的に育成

- 様々な種類の図表読み取りや手紙文、意見文の作成など、多様なテーマで文章の読解力・表現力を育むことが可能。
- 「基礎力」「読解力」「作成力」の各領域を段階的に育むことが出来るため、コースや学年の学習状況に合わせた指導が可能。
- 大学入試（総合型・学校推薦等）での加点評価など、大学進学を目指す生徒が主体的に学びきっかけとして期待。

文章検導入の効果

各領域を段階的に指導し、着実に文章力が向上

- 「図表読み取り」「要旨理解」「意見文の作成」など、希望進路に合わせて、各領域の指導にメリハリをつけることが出来た。
- 検定合格という明確な目標ができ、文章が苦手な生徒も主体的に学習へ取り組むことが出来た。その結果、受検者の約7割が検定に合格し。多くの生徒が書くことに自信をつけた。
- 文章検で学んだことにより、自分の力で小論文や志望理由書を書くことが出来るようになった。結果、指導の負担が軽減された。また、文章読解や表現の基礎を身につけた結果、国語だけでなく他教科の文章問題にも対応できるようになった。

< コースによって、異なる指導方法を実践 >

- ✓ 年間6コマという限られた時間で文章力を身につけさせたい[アドバンスコース]では、生徒の現状に合わせて毎年各領域の指導のバランスを調整している。
- ✓ また、より効率的・効果的な能力向上を目的に、生徒が作成した意見文を公式テキスト内チェックリストを用いて生徒自身で採点・添削をさせている。
- ✓ 基礎的な文章力を身につけさせたい[ジェネラルコース]では、4月から年間を通して、書き方の「型」や、各領域の読み方を指導している。

※2022年9月の取材内容に基づきます。